Panasonic®

取扱説明書

パーソナルコンピューター

品番 CF-R3 シリーズ

XP

1 付属の『ご使用の前に』で付属品を確認してください。

▼

2 はじめて使うときの操作や基本操作は、
本書をお読みください。

▼

3 詳しい使いかたは、画面で見る『操作マニュアル』をご覧ください。
➔ 8 ページ

別売り品や修理窓口は、付属の『ご使用の前に』で確認してください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（3 〜 6 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

「困ったときの Q&A」は、付属の『困ったときの Q&A』をご覧ください。

まず準備 使ってみる 守って快適に 困ったときは 大切な情報

Let'snoteでできること

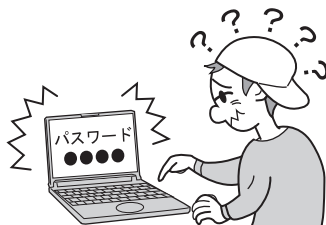
映像・音楽・データ交換などが手軽に楽しめる！
●SDメモリーカードスロット搭載

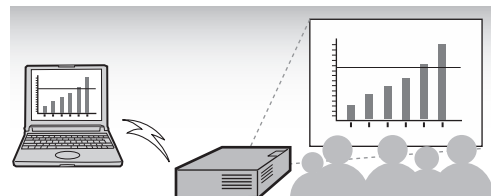
➔画面で見る『操作マニュアル』の
「第3章：SDメモリー／マルチメディアカードを使う」

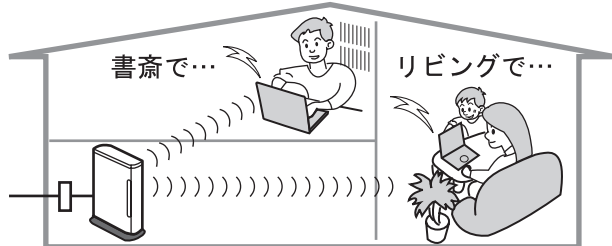
画面上の文字やアイコンなどを拡大表示！
●フォントサイズ拡大機能※1／ズームビューアー搭載

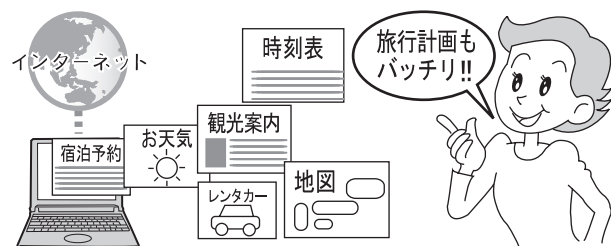
➔画面で見る『操作マニュアル』の「第5章：画面全体のアイコンなどを拡大表示する／画面の一部を拡大表示する」

※1 アプリケーションソフトやインターネット上の表示、HTML、メールによっては拡大表示されない場合があります。

無断使用防止にパスワードが設定できる！
●各種パスワード設定／SDメモリーカードの利用

➔画面で見る『操作マニュアル』の
「第2章：パスワードを設定する」
「第3章：SDメモリーカードによるセキュリティ機能」

プレゼンテーションで大活躍！
●ワイヤレス接続でらくらく
●標準の外部ディスプレイコネクターも装備

➔画面で見る『操作マニュアル』の
「第3章：外部ディスプレイを接続する」
「第4章：無線LANで通信する」

ワイヤレスでブロードバンドが楽しめる！
●無線LAN機能搭載（IEEE802.11a/b/g準拠）

無線LANをお使いになる前に、無線LANの電源を確認してください。（➔ 31ページ）

インターネットへの接続方法もいろいろ！
●電話回線、LAN、無線LANの利用

➔画面で見る『操作マニュアル』の
「第4章：インターネットに接続する」

ウィルスから守る！
●「セキュリティセンター」機能の利用
➔ 34ページ
●ウイルス対策ソフト マカフィー®・ウイルススキャン
➔ 35ページ

常に最新の状態にできる！
●Windows Update／パナソニックPCのホームページなどの利用
➔画面で見る『操作マニュアル』の
「第7章：本機を最新の状態にする」

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

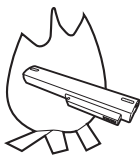
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意

⚠ 危険

火中に投入したり加熱したりしない

禁止

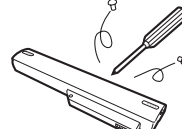
発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止

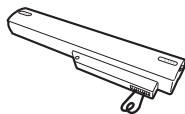
発熱・発火・破裂の原因になります。

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

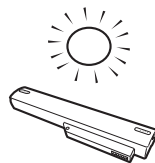
禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

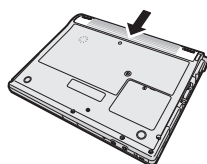
禁止

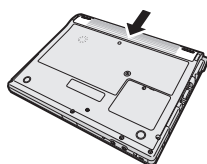
発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-R3 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

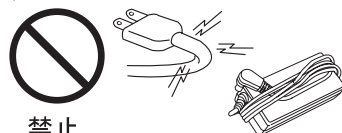
電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている　・異臭がする
・異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

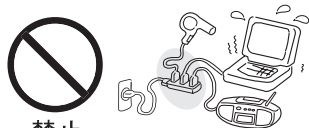
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない　また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解･改造しない

［本体に表示した事項］

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

禁止

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

SDメモリーカード／マルチメディアカード（共に別売り）は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

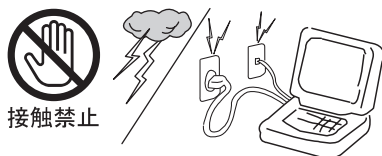
誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴りはじめたら、本機やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠ 警告

無線 LAN に関する注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る[*1]

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る[*1]（手術室、集中治療室、CCU[*2]等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る[*1]

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

[*1] やむをえずこのような環境でコンピューター本体を使用するときは、下記の手順で無線 LAN の電源を切ってください。ただし、航空機の離着陸時など、無線 LAN の電源を切ってもコンピューターの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。
画面右下のタスクトレイの「無線電源アイコン」（無線 LAN の電源オン時）をクリックし、[無線 LAN の電源を切る] をクリックしてください。

[*2] CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

ふとんや毛布などをかぶせたまま使用しない

禁止

内部に熱がこもり、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

⚠ 注意

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10〜15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LAN コネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 100 BASE-TX、10 BASE-T 以外のネットワーク
- 一般電話回線
- 内線電話回線（構内交換機）
- デジタル公衆電話
- 上記以外の電話回線 など

モデムは一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、本機で対応していない国や地域[*3]で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

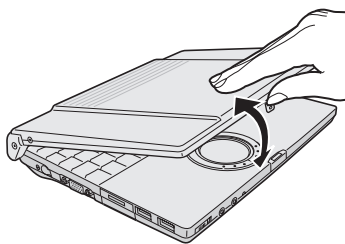
禁止

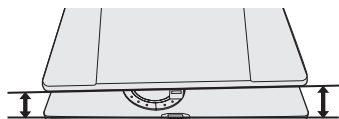
本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど[*4]の原因になります。

[*3] 本機のモデムが対応している国や地域については、画面で見る『操作マニュアル』をご覧ください。

[*4] 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い／表記について

使用上のお願い

◆ ディスプレイを開閉するとき

- 左図のようにディスプレイ上部の中央付近をお持ちください。

- 閉じるとき、左右のすき間（左図）に差が生じますが、性能に問題ありません。

表記について

表記	表記の意味
【Enter】	キーボードの Enter キーを押すこと。
【Fn】+【F5】	キーボードの Fn キーを押しながら、F5 キーを押すこと。 【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➔ 26 ページ）は、【Fn】と【Ctrl】（左側）を置き換えてご覧ください。
[スタート] - [検索]	画面上の [スタート] をクリックした後、[検索] をクリックすること。
➔	参照先

- 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。制限付きアカウントのユーザーや Guest アカウントで実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。

- 本書では、「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows」と表記します。

- 別売りの商品について
  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

説明書の見かた

紙で見る	取扱説明書（本書）	初めて本機を使うときに必要な起動方法や基本操作などについて説明しています。
	『ご使用の前に』（別添付）	付属品や別売り品、修理窓口など『取扱説明書』や『操作マニュアル』に記載されていない内容について説明しています。
	『困ったときの Q&A』（別添付）	トラブルが発生したとき、操作がわからないときなど、困ったときの対処方法を説明しています。
画面で見る	『操作マニュアル』（PDF 形式）	周辺機器の拡張方法や省電力機能など、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。
	『バッテリー等の上手な使い方』（PDF 形式）	バッテリーをできるだけ長持ちさせ、駆動時間を長くする方法などについて説明しています。
	『内蔵モデムコマンド一覧』（PDF 形式）	モデムの設定で使用するコマンドの一覧です。
	Windows のヘルプ	Windows の操作や各機能について説明しています。

画面で見るマニュアルの見かた

操作マニュアルのもくじ

・モデルによって一部内容が異なる場合があります。

マニュアルは本機に保存されていて、「はじめて使うとき」の設定（➔ 12 ～ 15 ページ）が終わったあと起動して、見ることができます。

- **PDF 形式の説明書（上記）をはじめて起動したとき、Adobe Reader の「エンドユーザ使用許諾契約書」画面が表示された場合は内容を確認のうえ、[同意する] をクリックしてください。**
- **Adobe Reader の使いかたは、Adobe Reader のヘルプを参照してください。**

◆『操作マニュアル』を見る

1 **[スタート] - [操作マニュアル]をクリックする。**

画面で見る操作マニュアルを活用
●省電力機能／インターネット／周辺機器の接続設定
●その他、『取扱説明書』に記載がない情報

◆『バッテリー等の上手な使い方』を見る

1 **デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックする。**

または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [バッテリー等の上手な使い方]をクリックする。

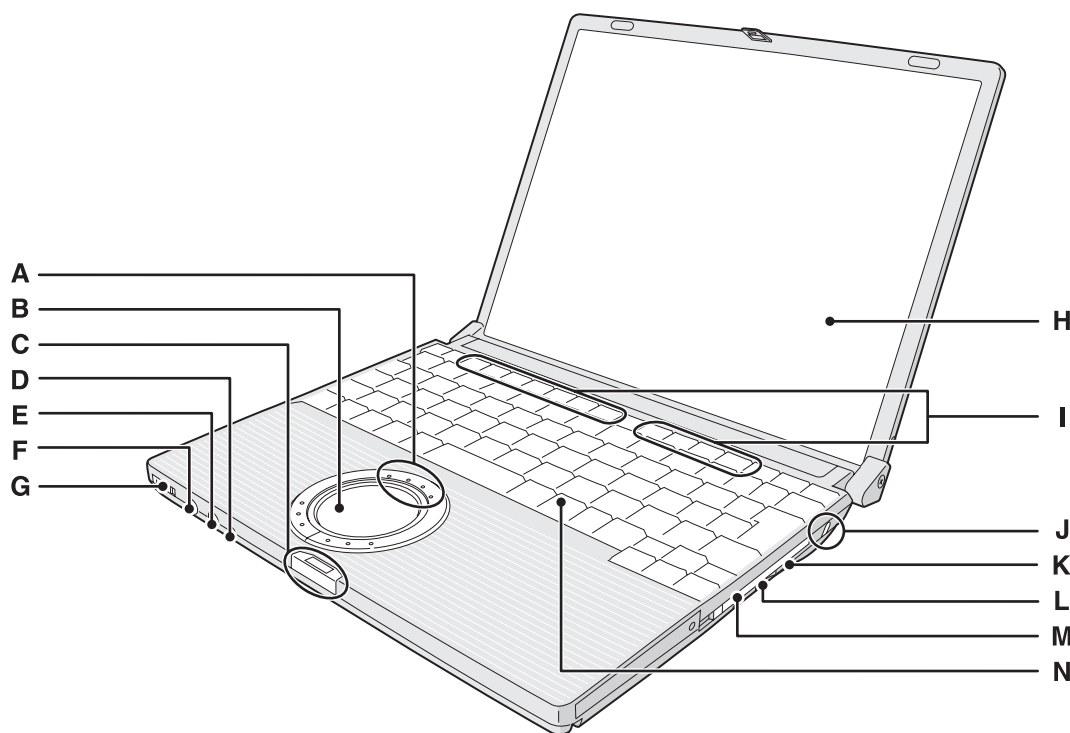
◆『内蔵モデムコマンド一覧』を見る

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [内蔵モデムコマンド一覧]をクリックする。**

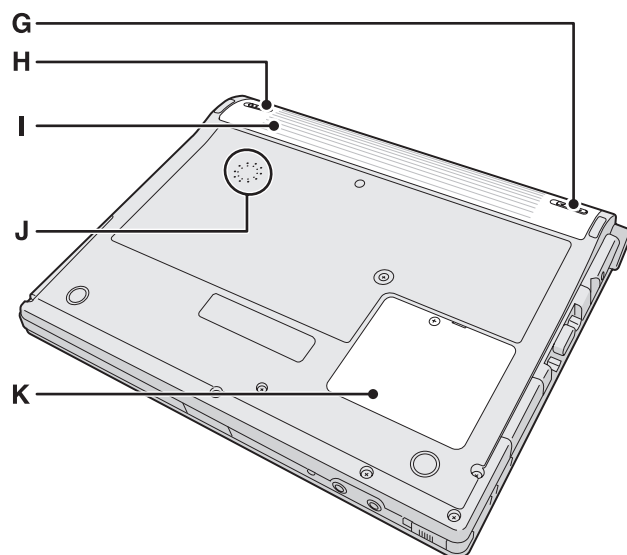
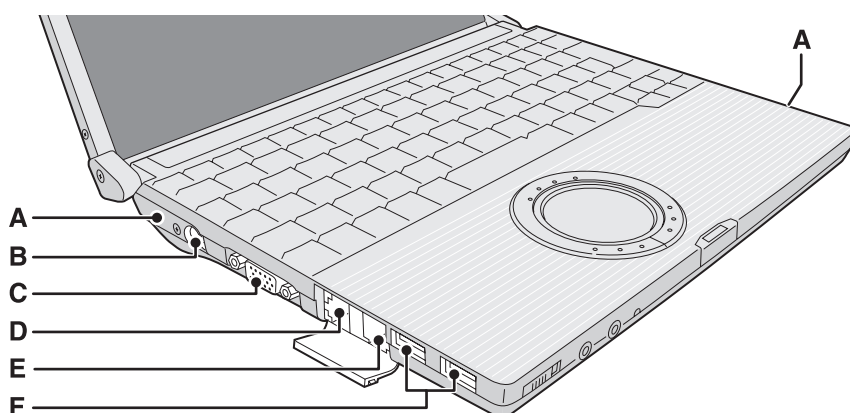
◆ Windowsのヘルプを見る

1 **コンピューターの管理者の権限でログオンし、[スタート] - [ヘルプとサポート]をクリックする。**

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	状態表示ランプ	➔　11 ページ
B	ホイールパッド	➔　20 ページ
C	ラッチ	ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、スタンバイや休止状態に入ります。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：次回、すぐに操作をはじめるために」） ● スタンバイまたは休止状態に入った場合、操作を再開するときはディスプレイを開けてください。
D	バッテリー状態表示ランプ	➔　11 ページ
E	マイク入力端子	コンデンサー型モノラルマイクロホンの 2 極プラグタイプと 3 極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
F	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。
G	電源スイッチ／電源状態表示ランプ	約 1 秒間スライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源スイッチ ➔　13 ページ／電源状態表示ランプ ➔　11 ページ）

H	ディスプレイ（内部 LCD）	明るさ調整：【Fn】+【F1】（下げる）／【Fn】+【F2】（上げる） ● AC アダプターを接続しているときと接続していないときの明るさの設定を、別々に保持できます。
I	ファンクションキー	【Fn】キーと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➔　21 ページ
J	セキュリティロック	Kensington 社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
K	SD メモリーカードスロット	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 3 章：SD メモリー / マルチメディアカードを使う」
L	SD メモリーカード状態表示ランプ	➔　11 ページ
M	PC カードスロット	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 3 章：PC カードを使う」
N	キーボード	—

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	無線 LAN 用アンテナ（内蔵）	無線 LAN 通信用のアンテナが内蔵されています。 ➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：無線 LAN で通信する」
B	電源端子　DC IN 16V	AC アダプターを接続します。➔　13 ページ
C	外部ディスプレイコネクター	外部ディスプレイのケーブルを接続します。 ➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 3 章：外部ディスプレイを接続する」
D	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。 ➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：LAN でネットワークに接続する」
E	モデムコネクター	モジュラーケーブルを接続します。コネクターの向き（）を確認して接続してください。➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：電話回線に接続する」
F	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。 ➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 3 章：USB 機器を接続する」

G	ラッチ（右）	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。
H	ラッチ（左）	バッテリーパックの取り付け／取り外し時に、手動でロックを解除します。 ➔　12 ページ
I	バッテリーパック	➔　12 ページ、画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：バッテリーパック」
J	スピーカー	● 音量調整：【Fn】+【F5】（下げる）／【Fn】+【F6】（上げる） ● スピーカーのオン／オフ：【Fn】+【F4】
K	拡張メモリースロット	➔　22 ページ

まず準備

状態表示ランプで状態を確認する

ランプ	ランプの名前と状態
	電源状態表示ランプ（内部 LCD の明るさに合わせてランプの明るさも変わります。） ● 消灯：電源オフまたは休止状態。 ● 点灯：電源オン。 ● 点滅：スタンバイ状態。
	バッテリー状態表示ランプ ● 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態。 ● オレンジ色点灯：充電中。 ● 緑色点灯：充電完了。 ● 赤色点灯：残量約 9% 以下。 ● 赤色点滅：バッテリーパックまたは充電回路が正しく動作していない状態。 ● オレンジ色点滅：一時的に充電できない状態。（バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外）
	Caps Lock **ランプ（キャップスロック）** ● 【**Shift**】を押しながら【**Caps Lock**】を押すと点灯：アルファベットが大文字で入力できる状態。
	NumLk **ランプ（ナムロック／テンキーモード）** ● 【**NumLk**】を押すと点灯：キーボードの一部がテンキーとして機能する状態。ランプ点灯時に押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。【**Enter**】の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。解除するには、もう一度【**NumLk**】を押します（ランプ消灯）。 テンキーモードにすると、「NumLock お知らせ」画面が表示されます。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：テンキーモードを使う」） ● NumLk ランプ点灯時：下図のように機能します。 テンキーモード
	ScrLk **ランプ（スクロールロック）** ● 【**Fn**】を押しながら【**ScrLk**】を押すと点灯：使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
	ハードディスク状態表示ランプ ● 点灯：ハードディスクへのアクセス中。
本体の右側面	SD **メモリーカード状態表示ランプ** ● 点灯：SD メモリーカードまたはマルチメディアカードへのアクセス中。

はじめて使うとき

お買い上げ後、はじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1　付属品を確認する。（➔付属の『ご使用の前に』）

2　ソフトウェア使用許諾書（➔　45ページ）に同意する。

本機の包装袋のシールをはがす前に、必ず内容を確認してください。

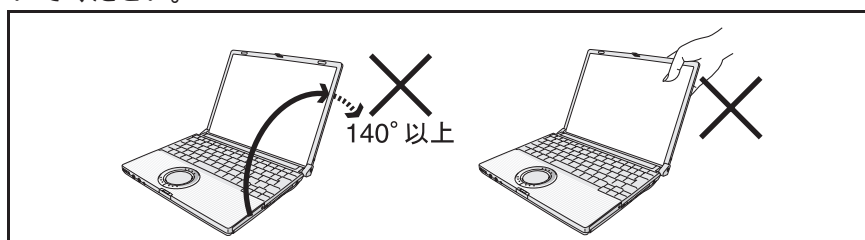
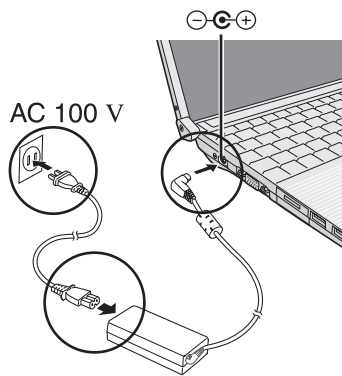
3　本体を裏返し、バッテリーパックを取り付ける。

A　バッテリーパックの左側のラッチ（A）をロック解除（🔓）の方向にスライドする。
B　バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
C　左側のラッチ（A）をロック（🔒）の方向にスライドし、しっかりと固定されていることを確認する。
（右側のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。）

お願い

- 必ずラッチのロック状態を確認してください。正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないようにしてください。
汚れ・損傷などで、接触が悪くなると、十分に充電できなくなる場合があります。また、本機が正しく動作しないことがあります。
- バッテリーパックに関する注意（➔　3ページ）をよくお読みください。

4　ラッチ（B）を押しながらディスプレイを開ける。

- ディスプレイを必要以上（140 ° 以上）に開けたり、必要以上の力を液晶部分に加えたりしないでください。また、液晶部分を持って開閉しないでください。

5　ACアダプターを接続する。

- はじめて使うときの操作が完了するまで、必ず接続しておいてください。
- 接続すると、自動的にバッテリーパックの充電が始まります。
  充電時間：約 4.5 時間（コンピューターの動作状態により異なる。）
- はじめて使うときは、バッテリーパックと AC アダプター以外の周辺機器を接続しないでください。

⚠ 注意

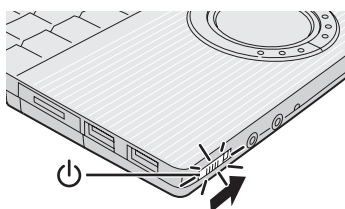
ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わった AC アダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- AC アダプターの修理は、販売店にご相談ください。

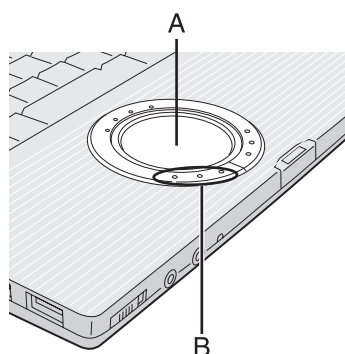
必ず指定のACアダプターを使用する

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

まず準備

6　電源を入れる。

- 電源スイッチ ⏻ を約 1 秒間スライドし、電源状態表示ランプ ⏻ が点灯したら手を離す。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしないでください。強制的に電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。また、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。Windowsのセットアップが正しく動作しない場合があります。

7　Windowsをセットアップする。

カーソル（⇖）の移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッド（A）と左ボタン（B）を使います。

- 操作中、次の画面に移るまでしばらく時間がかかる場合があります。
  キーボードやホイールパッドなどを操作せずにしばらくお待ちください。

A 「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]をクリックする。

B 「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、[同意します]をクリックして、[次へ]をクリックする。

- 「同意しません」をクリックした場合、Windows のセットアップが中止されます。

C「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]をクリックする。（工場出荷時は日本に設定されています。）

D「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前を入力して、[次へ]をクリックする。（組織名は入力しなくてもかまいません。）

E「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]をクリックする。

- コンピューター名は、ネットワークを使用して複数のコンピューターと接続する場合に、本機を識別するための名前です。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。コンピューターの管理上、必要となる場合があります。

F「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定して[次へ]をクリックする。

- ▼や÷をクリックして設定することができます。
- 正しい設定になっている場合は、そのまま [次へ] をクリックしてください。
- 各種設定が自動的に行われた後、コンピューターが自動的に再起動し、Windows が起動します。

● 再起動まで 2 ～ 3 分程度かかる場合があります。キーボードやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。

G 手順 E で設定したパスワードを入力して→をクリックしてください。

- パスワード入力時に文字入力の設定がキャップスロックやナムロックになっていないことを確認してください。（➔ 15 ページ手順 F）
- Windows にログオンします。ログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。

お知らせ

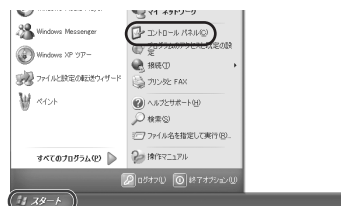
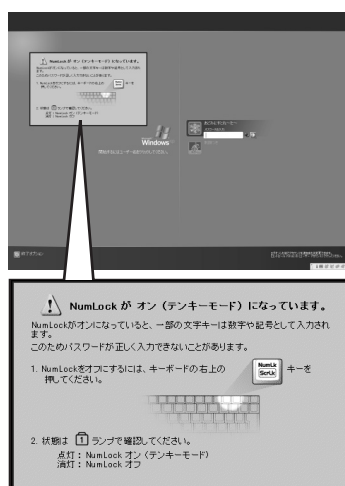
このメッセージはエラーなどのメッセージではありません。

- Windowsのセットアップが完了すると
  - 「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」というメッセージが画面の右下に表示されますが、続いて次の手順に進んでください。
    これは、[コントロールパネル]の[セキュリティセンター]機能が表示しているメッセージで、エラーなどのメッセージではありません。[セキュリティセンター]については、34ページをご覧ください。
  - 無線LANの電源が入り、オンの状態になります。無線LANの電源を切り、オフの状態で使いたい場合は、31ページをご覧ください。

8 本機を使用するユーザーを識別するための「ユーザーアカウント」を作成する。

- メールの設定やパスワードリセットディスク（➔ 16 ページ）などの各種操作を行ってからユーザーアカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなりますので、ここでユーザーアカウントを作成します。

A [スタート][*1] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックし、[新しいアカウントを作成する]をクリックする。

*1 Windows のセットアップ直後は、[スタート] がクリックされた状態（[スタート] の上に [すべてのプログラム] などのメニューが表示された状態）になっている場合があります。

B **アカウントの名前を入力して、[次へ]をクリックする。**
（例：Matsushita**）**

C **[アカウントの作成]をクリックする。**

- **最初に作成するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」以外選べません。**
  「コンピューターの管理者」のアカウントを作成すると、次からは手順 ***8*** **の操作で制限ユーザーのユーザーアカウントも作成できるようになります。**

D **パスワードを設定する。**

- **本機を複数の人で使う場合、自分用のアカウントにパスワードを設定しておくことをおすすめします。**
- **パスワードを設定する場合は、パスワードを設定するアカウントをクリックしてから [パスワードを作成する] をクリックし、画面に従ってパスワードを入力して、[パスワードの作成] をクリックします。**
  - **設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れたときのために、ヒントになるものを [パスワードのヒント] に入力しておくと便利です。また、パスワードリセットディスクを作成しておくことをおすすめします。（➔ 16 ページ）**
    パスワードを忘れると Windows **を使用することができません。**
    パスワードを忘れたときの対策については、付属の『困ったときの Q&A**』の「コンピューターの管理者のパスワードを忘れた」をご覧ください。**

E **[スタート] - [終了オプション] - [再起動]をクリックして、コンピューターを再起動する。**

F **「ようこそ」画面で、作成したユーザー（ユーザーのアイコン）をクリックしてログオンする。**

- **手順** D **でパスワードを設定していないと、「ようこそ」画面は表示されません。**
- **手順** D **でパスワードを設定している場合は、パスワードを入力して ➔ をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。**
- **文字入力の設定がキャップスロック（➔ 11 ページ）になっていないことを確認してください。**
  なお、文字入力の設定がテンキーモードに設定されている場合は、「NumLock**（ナムロック）お知らせ」画面が表示されます。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第** 2 **章：テンキーモードを使う」）**
- **「ようこそ」画面には作成したユーザーアカウントのみが表示され、**Windows **のセットアップ時に入力した「**Administrator**」のアカウントは表示されません。**

G **画面右下のタスクトレイの をクリックし、[自動更新を有効にする]をクリックする。**
さらにウィルス対策として、マカフィー®・ウイルススキャンをお使いいただくこともできます。（➔ 35ページ）

◆ はじめて使うときの操作はこれで完了です

まず準備

お知らせ

- 画面上の文字やアイコンが小さくて見にくい場合（フォントサイズ拡大）
  A [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic]をクリックする。
  B [フォントサイズ拡大]をクリックし、「大きいサイズ」または「特大のサイズ」をクリックして、[OK]をクリックする。
  - 画面全体のアイコンなどが拡大表示されます。
  - 「フォントサイズ拡大」は、ユーザーアカウントごとに設定できます。
- 「フォントサイズ拡大」の他に、画面の一部を拡大表示する「ズームビューアー」もあります。（➔画面で見る『操作マニュアル』の「第5章：画面の一部を拡大表示する」）

パスワードリセット機能について

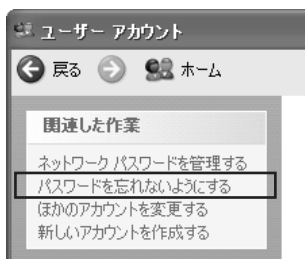
◆ Windowsのログオンパスワードを忘れたときのために

現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従って、あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

A 別売りのUSBフロッピーディスクドライブ（➔付属の『ご使用の前に』）を本機に接続する。

B [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックする。

C ログオンしているアカウントをクリックし、[関連した作業]内から[パスワードを忘れないようにする]をクリックする。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。

- パスワードリセットディスクで解除できるのは、各アカウントのログオンパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

画面の表示について

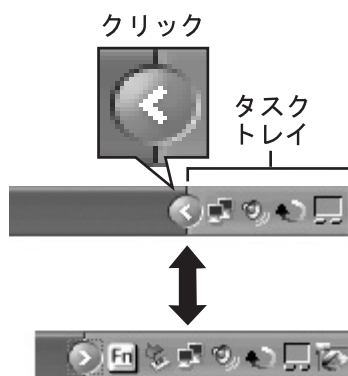
電源を入れ、Windows にログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。（画面やアイコンは一例です。）

◆ デスクトップのアイコン

など

ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。

◆ [スタート]メニュー

クリックすると、メニューが表示されます。
使いたいアプリケーションソフトなどをメニューから選択し、クリックします。

◆ タスクトレイ（画面右下）

並んでいるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。

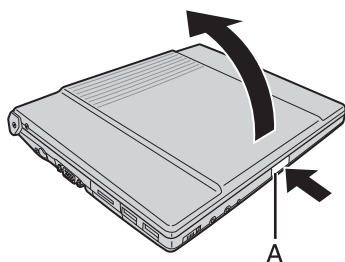
- 本書で説明しているタスクトレイ内のアイコンが隠れて表示されていない場合は、をクリックしてすべてのアイコンを表示させてください。
- 本書で使用しているタスクトレイのアイコンは一例であり、各種機能の設定や接続している機器など、環境によってアイコンの種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。

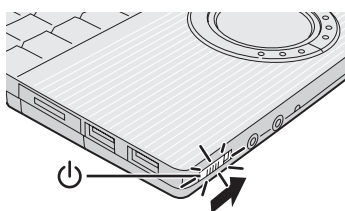
タスクトレイのアイコンの役割

下記のタスクトレイのアイコンは一例です。

アイコン	名称と役割	参照先
	Intel Extreme Graphics 2 for Mobile アイコン （画面設定に使用）	–
	ネットセレクターアイコン （LAN や無線 LAN などの接続設定に使用）	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：いろいろな場所でネットワークに接続」
または	無線電源アイコン （無線 LAN の電源オン／オフの切り替えや IEEE802.11a の有効／無効の切り替えに使用）	➔ 31 ページ
	ポインティングデバイスアイコン （ホイールパッドの各種設定に使用）	–
	スクロールアイコン （ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用）	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：ホイールパッドを使う」
	音量アイコン （音量の設定）	➔Windows のヘルプ
または	無線ネットワーク接続アイコン （無線 LAN の接続設定に使用）	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：無線 LAN で通信する」
または	有線ネットワーク接続アイコン （有線 LAN の接続設定に使用）	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：LAN でネットワークに接続する」
	バッテリーメーターアイコン AC アダプターを抜くと表示。（バッテリーの各種設定に使用）	➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：バッテリーパック」
または	Windows セキュリティアイコン （セキュリティに関する設定状態の確認や設定に使用）	➔ 34 ページ

電源を入れる／切る

電源を入れる

1　ラッチ（A）を押しながらディスプレイを開ける。

- ディスプレイを必要以上（140 ° 以上）に開けたり、必要以上の力を液晶部分に加えたりしないでください。また、液晶部分を持って開閉しないでください。

2　電源を入れる。

電源スイッチ ⏻ を約1秒間スライドし、電源表示ランプ ⏻ が点灯したら手を離す。

- 4 秒以上スライドしないでください。強制的に電源が切れます。
- 起動中（ポインターが砂時計（⌛）から通常のもの（↖）に戻り、ハードディスク状態表示ランプ🛢が消えるまで）は、以下のことをしないでください。
  - AC アダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。

3　Windowsにログオンする。

ハードディスク状態表示ランプ🛢が消えてから、ユーザー（ユーザーのアイコン）をクリックします。

- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して➡をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
  文字入力の設定がキャップスロックやテンキーモード（➔　15 ページ手順 F）になっていないことを確認してください。
- ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（➔　33 ページ）
- ユーザーが一人だけ作成されていて、パスワードが設定されていない場合は、ユーザーを選ぶ画面が表示されません（自動ログオン）。

4　操作をする。

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、以下のようになります。
  - ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。この場合、ホイールパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
    アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（【Ctrl】や【Shift】など）を押してください。
    また、コンピューターを操作せずに放置していると、スタンバイ状態または休止状態に入るように設定されています。電源スイッチをスライドするとリジュームします。（➔画面で見る『操作マニュアル』の「第2章：次回、すぐに操作をはじめるために」）
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっていることがあります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的

に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

◆ 電源を入れたあとすぐに左の画面が表示されたら…

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し【Enter】を押してください。

- 正しく入力すると起動します。
- 3 回間違えるかパスワードを入力せずに約 1 分経過すると、電源が切れます。

電源を切る

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 終了画面を表示する。

[スタート] - [終了オプション]をクリックする。
(➔ 33ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」)

3 [電源を切る]をクリックする。

自動的に電源が切れます。

- 起動し直したい場合（再起動）：[再起動] をクリックする。

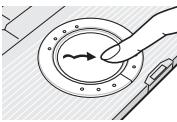
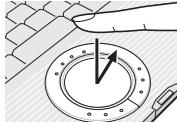
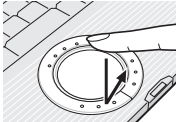
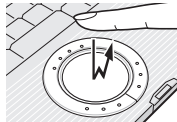
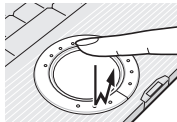
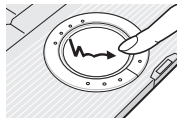
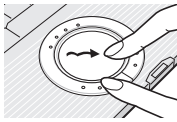
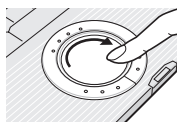
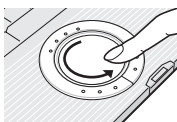
◆ キーボードを使って電源を切るには：

A 【⊞】、【U】の順に押し、【➔】【←】【↑】【↓】で[電源を切る]を選ぶ。
B 【Enter】を押す。

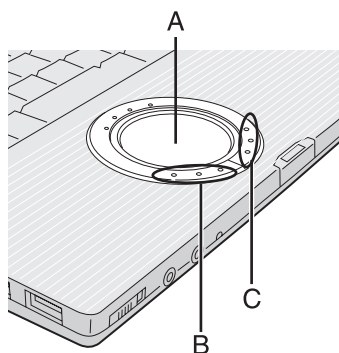
お願い

- 電源が切れるまでは、以下のことをしないでください。
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。

お知らせ

- コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約 1.5 Wの電力が消費されます。）

◆ 席を外すなど、操作を中断するとき…

「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：次回、すぐに操作をはじめるために」）

ホイールパッドを使う

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
A. 操作面（ホイールパッド） B. 左ボタン（丸が 3 つ並んでいる部分）
C. 右ボタン（丸が 3 つ並んでいる部分）

機能	操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ／クリック	タップ　または　クリック ● 右クリック：右ボタンをクリックします。
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてからすばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら指を移動させる。
縦スクロール	下方向　または　上方向 円を描くようにホイールパッドをなぞる。
横スクロール	円を描くようにホイールパッドをなぞる。ご使用前に初期設定が必要です。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：ホイールパッドを使う」）

お知らせ

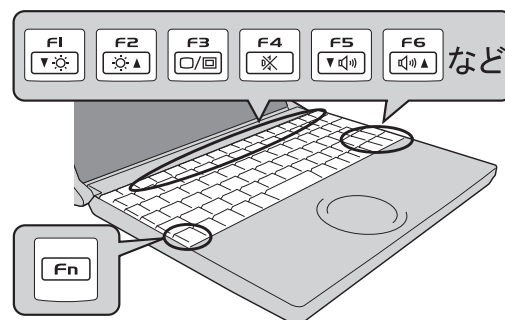
- ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]をクリックし、[マウスのプロパティ]画面で変更できます。
- 外部マウスを接続していて、カーソルが正しく動作しなくなった場合：セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。再び、ホイールパッドを使用するときは、[有効]に設定してください。（➔ 26ページ）
- ホイールパッドの取り扱いは、以下の点に気を付けてください。
  - ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
  - 油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。

◆ カーソルが思うように動かないとき

- ホイールパッドに触れたときの感度を調節することができます。
  （➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：ホイールパッドを使う」）

Fnキーを使う

【Fn】を押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、枠で囲まれている文字や記号の機能が働きます。

- 各機能の詳細：➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：Fn キーを使う」
- 【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➔ 26 ページ）：
  【Fn】の代わりに【Ctrl】（左側）を押してください。
  （キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。）

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
【Fn】＋【F1】 【Fn】＋【F2】	内部 LCD の明るさの調整 【Fn】＋【F1】（下げる）／【Fn】＋【F2】（上げる） ● AC アダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを別々に保持できます。 （工場出荷時、AC アダプターが接続されていない状態では暗く設定されています。）	
【Fn】＋【F3】	画面の表示先の切り替え（外部ディスプレイ接続時）	—
【Fn】＋【F4】	音声出力のオン／オフ	オフ（ミュート） オン
【Fn】＋【F5】 【Fn】＋【F6】	音量調整 【Fn】＋【F5】（下げる）／【Fn】＋【F6】（上げる）	
【Fn】＋【F7】	スタンバイ機能を使って電源オフ	—
【Fn】＋【F9】	バッテリーの残量表示	100 % バッテリー装着時（表示は一例です） -- % バッテリー未装着時
【Fn】＋【F10】	休止状態機能を使って電源オフ	—
【Fn】＋【F11】	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	—
【Fn】＋【F12】	画面をクリップボードにコピー（PrtSc） 画面全体をクリップボードにコピーします。 【Fn】＋【Alt】＋【F12】を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	—
【Fn】＋【NumLk】 【Fn】＋【Ins】 【Fn】＋【Del】	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 【Fn】＋【NumLk】：ScrLk 【Fn】＋【Ins】：Pause 【Fn】＋【Del】：Break	—
【Fn】＋【←】	最初のページに移動またはカーソルを行の先頭に移動（Home）	—
【Fn】＋【→】	最後のページに移動またはカーソルを行の最後に移動（End）	—
【Fn】＋【↑】	前のページに移動（PgUp）	—
【Fn】＋【↓】	次のページに移動（PgDn）	—

メモリーを増設する

別売りの RAM モジュールを増設し、メモリーを増やすことによって Windows やアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます。（お使いの使用条件により効果は異なります。）

- RAM モジュールは CF-BAU0256U などの推奨品をお使いください。それ以外は使用しないでください。正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。本機の拡張メモリースロットに増設可能な RAM モジュールの仕様については「仕様」（➔ 48 ページ）をご覧ください。推奨品については弊社の最新のカタログやホームページでご確認ください。
- 推奨品以外の RAM モジュールを使用した場合や誤った方法で装着または取り外しした場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。RAM モジュールの種類や装着方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。

お願い

- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触ったり、ゼムクリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

RAMモジュールの取り付け／取り外し

◆ 取り付け

1 コンピューターの電源を切る。（➔ 19ページ）

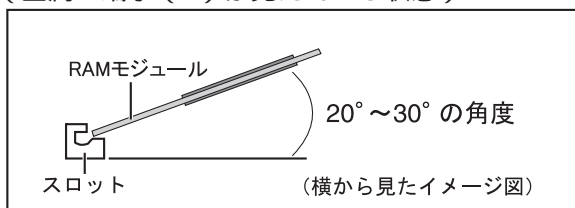
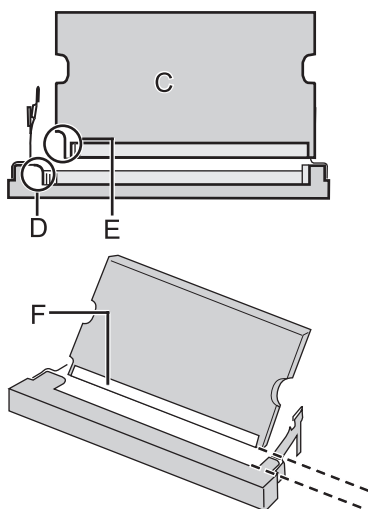
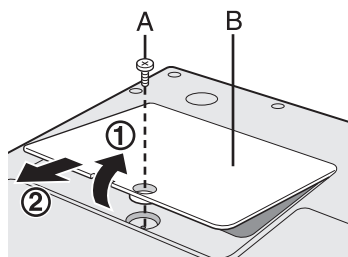
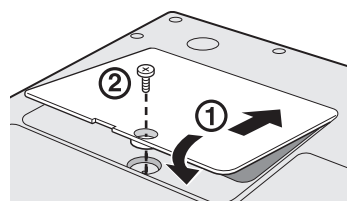
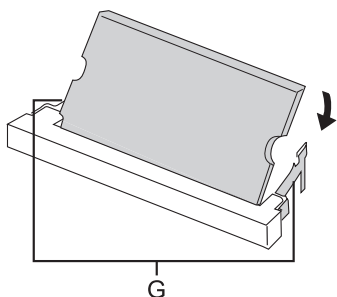
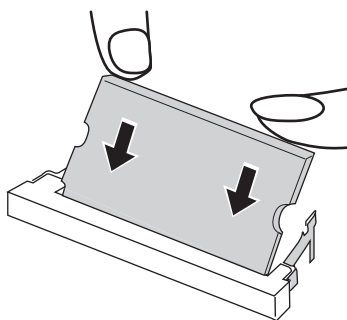
- スタンバイ・休止状態のとき、取り付け／取り外しを行わないでください。
- AC アダプターを取り外してください。

2 本体を裏返し、バッテリーパックとネジ（A）を取り外してカバー（B）を、A 持ち上げ、B 引き抜いて外す。

- ネジ山をつぶさないように、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。

3 RAMモジュールを取り付ける。

A RAMモジュール（C）の向きを確認する。
スロットの凸部（D）とRAMモジュールの切り欠き部（E）の向きを合わせて持ってください。

B スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。
（金属の端子（F）が見えている状態）

C **金属の端子が見えなくなるまで、平行にしっかりと挿し込む。**
- **挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。**
- **しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。**

D **左右のフック（G）でロックされるまで倒す。**
- RAM **モジュールを倒すとき、左右のフックが少し開き、ロックされると元に戻ります。**
- **倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。**

4 カバーを取り付ける。

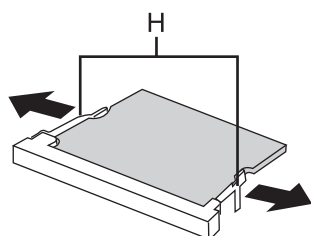
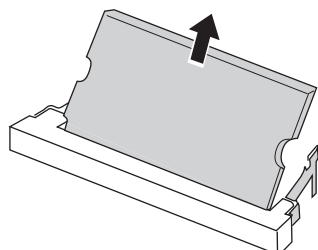
A **カバーを斜めから挿し込み、取り付ける。**
B **ネジで固定する。**

お知らせ

- RAM**モジュールの挿しかたを間違えたり、推奨品以外の**RAM**モジュールを装着したりすると、コンピューターの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「増設**RAM**モジュールエラーです」というエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピューターの電源を切り、**RAM**モジュールが推奨品であることを確認し正しく取り付け直してください。**
- **増設したメモリーサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニュー（➔ 26ページ）で確認できます。工場出荷時のメモリーサイズは仕様のメインメモリーをご覧ください。（➔ 48ページ）**

◆ 取り外し

「◆取り付け」の手順 *1* ～ *2* の後、以下の手順で取り外してください。

A **左右のフック（H）を外側にゆっくりと広げる。**
RAM**モジュールが斜めに持ち上がります。**

B **ゆっくりとスロットから取り外す。**

C **カバーを取り付ける。**
「◆取り付け」の手順*4*参照。

本機の設定を変更する（セットアップユーティリティ）

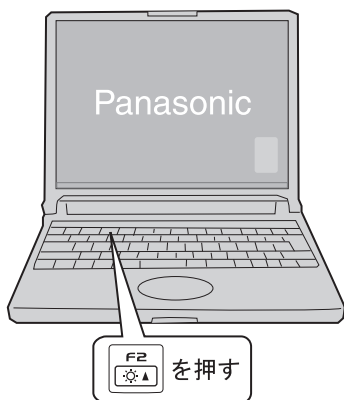
セットアップユーティリティは、コンピューターの動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「セキュリティ」、「起動」、「終了」

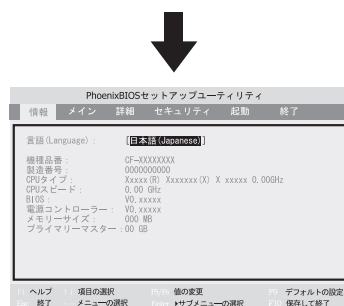
セットアップユーティリティを起動する

1 **コンピューターの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。**

2 **コンピューターの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押す。**

Panasonic

F2 を押す

パスワードを入力してください

（パスワード設定時のみ）

パスワードを設定している場合は、左の画面が表示されます。パスワードを入力し、【Enter】を押してください。

スーパーバイザーパスワード（➔ 28ページ）を入力すると

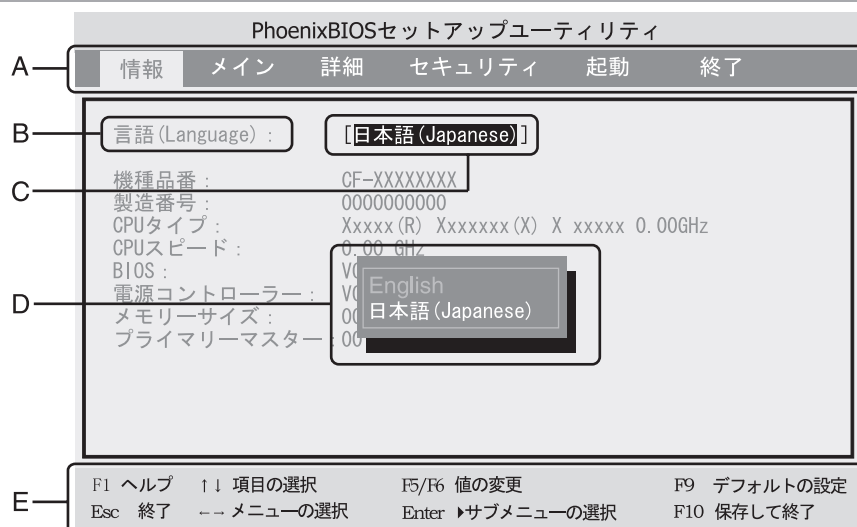
- **セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。**

ユーザーパスワード（➔ 28ページ）を入力すると

- **「詳細」メニューと「起動」メニューでは：**
  - **設定を参照することはできますが、変更はできません。**
- **「セキュリティ」メニューでは：**
  - **[登録されたSDの解除]、[スーパーバイザーパスワード設定]は表示されません。**
  - **[起動時のパスワード]、[SDによる起動]、[SDのセット方法]、[Setup Utility 表示]、[Boot First Menu]、[ユーザーパスワード保護]は表示されますが、設定はできません。**
  - **[ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更ができます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。**
- **「終了」メニューでは：**
  - **[デフォルト設定]と[ハードディスクリカバリー／消去]が表示されません。**
- **【F9】は使えません。**

お知らせ

- **セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に同時表示することはできません。【Fn】＋【F3】を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。**
- **パスワードを設定していて[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合**
  - **コンピューター起動時：パスワードの入力は不要**
  - **セットアップユーティリティ起動時：パスワードの入力が必要。これにより、セットアップユーティリティの内容が変更されるのを防ぐことができます。**
- **【F2】を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して起動し直してください。**
- **セットアップユーティリティを終了するとき**
  A **【Esc】を押す。**
  B **終了方法の項目を選んで【Enter】を押す。**
  C **[はい]を選んで【Enter】を押す。**

画面の見かたと使いかた

A. 【←】【→】を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。
B. 選択できる項目が複数ある場合は、【↑】【↓】を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。
C. 反転表示されている項目は【Enter】を押してサブメニューを表示させることができます。
D. サブメニューが表示されているときは【↑】【↓】を押して項目を選ぶことができます。
E. セットアップユーティリティの画面で、設定に使えるキーを表示します。

設定に使うキー

- 【F1】：ヘルプを表示。(【F1】を再度押すと元の画面に戻る)
- 【Esc】：「終了」メニューを表示。
- 【↑】【↓】：カーソルを上下に移動。(項目を選ぶときに使用)
- 【←】【→】：カーソルを左右に移動。(「情報」「メイン」「詳細」「セキュリティ」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用)
- 【F5】：各項目の前候補を選択。(設定値の変更時に使用)
- 【F6】：各項目の次候補を選択。(設定値の変更時に使用)
- 【Enter】：各設定項目のサブメニューを表示。(【↑】【↓】で項目を選んだ後に使用)
- 【F9】：各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す。
- 【F10】：設定を保存して終了。

使ってみる

情報メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
言語（Language） • セットアップユーティリティの言語を選択します。	English 日本語（Japanese）
機種品番 製造番号 CPU タイプ CPU スピード BIOS 電源コントローラー メモリーサイズ プライマリー マスター	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更することはできません。

メインメニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
システム時間 • 24 時間制です。 •【Tab】でカーソルの移動ができます。【↑】【↓】で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]
システム日付 •【Tab】でカーソルの移動ができます。【↑】【↓】で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド • ホイールパッドを使う（有効）／使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/ 左 Ctrl キー • 内部キーボードの【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う（標準）／入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 • 入れ換えた場合、【Fn】と【Ctrl】（右側）のキーを押しながらもう一つのキーを押す操作はできません。 • キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。 • 外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ] を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。Windows 起動後は、次の項目で設定した内容が有効になります。 [スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) Extreme Graphics 2 M] - [デバイス]	外部ディスプレイ 内部 LCD
拡張表示 • Windows が起動するまでの表示を拡張表示にする（有効）／しない（無効）を設定します。	無効 有効

詳細メニュー

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したとき、「詳細」メニューは変更できません。

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

モデム • 内蔵モデムの機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けのモデムには働きません。）	無効 <u>有効</u>
LAN • 内蔵 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの LAN カードには働きません。）	無効 <u>有効</u>
LAN Boot 機能 • ネットワーク上のサーバーコンピューターから起動する機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。 • ［LAN］が [有効] に設定されているときのみ設定できます。（内蔵 LAN にのみ働きます。内蔵無線 LAN や外付けの LAN カードなどには働きません。）	無効 <u>有効</u>
無線 LAN • 内蔵無線 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの無線 LAN カードには働きません。）	無効 <u>有効</u>
レガシー USB • Windows が起動する前に、USB キーボード、USB CD/DVD ドライブおよび USB フロッピーディスクドライブをコンピューターに認識させる機能を使用する(有効）／使用しない(無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>

セキュリティメニュー

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合
  - [登録されたSDの解除]、[スーパーバイザーパスワード設定]は表示されません。
  - [起動時のパスワード]、[SDによる起動]、[SDのセット方法]、[Setup Utility表示]、[Boot First Menu]、[ユーザーパスワード保護]は表示されますが、設定はできません。
  - ユーザーパスワードは[ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されているときのみ変更できます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。
- [SDによる起動]、[SDのセット方法]、[登録されたSDの解除]は、SDメモリーカードが登録されているときのみ表示されます。（➔画面で見る『操作マニュアル』の「第3章：SDメモリーカードによるセキュリティ機能」）

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時のパスワード • コンピューター起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）／必要としない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
SD による起動 • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う（許可）／使わない（禁止）を設定します。 • SD メモリーカードを登録すると、[許可] に設定されます。 • [起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは設定できません。	<u>禁止</u> 許可

本機の設定を変更する

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

SD のセット方法 • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う場合、カードのセット方法を [セットしたまま] または [セットして抜く] に設定します。 • [SD による起動] が [許可] に設定されているときのみ設定できます。 • [起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは設定できません。	<u>セットしたまま</u> セットして抜く
登録された SD の解除 • 現在登録されているすべての SD メモリーカードが、コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに使えなくなるよう登録を解除します。	サブメニュー表示
スーパーバイザーパスワード設定 • セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、コンピューターも起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード] を [有効] に設定してください。	サブメニュー表示
Setup Utility 表示 • コンピューター起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に [Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージを表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
Boot First Menu •「起動時のメニュー」を表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。（➔ 29 ページ「起動メニュー」）	無効 <u>有効</u>
ユーザーパスワード保護 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）／許可しない（保護する）を設定します。	<u>保護しない</u> 保護する
ユーザーパスワード設定 • 本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 例えば、コンピューターを管理する人がスーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定し、他の利用者へはユーザーパスワードだけを知らせておくようにします。こうすることにより、他の利用者に対して、セットアップユーティリティの変更を制限することができます。（➔ 24 ページ） • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示

※ 松下グループのショッピングサイト「パナセンス」（マイレッツ倶楽部）でご購入された機種および企業法人向け機種の方へ
セキュリティメニューについては、付属の『ご使用の前に』をご覧ください。

起動メニュー

オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位（上から順に優先）を設定します。
優先順位を 1 つ上げる場合は、【↑】【↓】でデバイスを選択して【F6】を押す。
優先順位を 1 つ下げる場合は、【↑】【↓】でデバイスを選択して【F5】を押す。

- **起動できる別売りのフロッピーディスクドライブおよび CD/DVD ドライブについては、付属の『ご使用の前に』をご覧ください。**

+ フロッピー ドライブ [*1*2]
+ ハードディスク ドライブ [*2]
USB CD/DVD ドライブ
LAN

[*1] フロッピーディスクドライブが接続されていない場合、「+」は表示されません。
[*2] 「+」表示の項目を選んで【Enter】を押すと、接続されている機器（内蔵を含む）の名称が表示されます。（もう一度【Enter】を押すと、表示が元に戻ります。）
【Ctrl】+【Enter】を押すと、フロッピーディスクドライブおよびハードディスクドライブの両方の名称が表示されます。

お知らせ

- **ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、「起動」メニューは変更できません。**
- **オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐに【Esc】を押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。**
  「起動時のメニュー」は、「セキュリティ」メニューの[Boot First Menu]が[有効]に設定されているときのみ表示させることができます。

終了メニュー

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。 • 工場出荷時の設定に戻すと、連動して無線 LAN の電源が入ります。無線 LAN の電源を切る必要がある場合は、Windows を起動して、無線 LAN 切り替えユーティリティで電源を切ってください。（➔ 31 ページ） なお、IEEE802.11a の有効／無効の設定は、変更されません。 IEEE802.11a を無効に設定していた場合は、IEEE802.11a は無効の設定が保持されます。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。
バッテリー残量表示補正	バッテリー残量表示を補正します。 （➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：バッテリーパック」）
ハードディスク リカバリー／消去 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。	工場出荷時の状態に戻します。またはハードディスクの内容を消去します。実行する前に、必ず「再インストールする（ハードディスク リカバリー）」（➔ 40 ページ）または「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」（➔ 46 ページ）をお読みください。

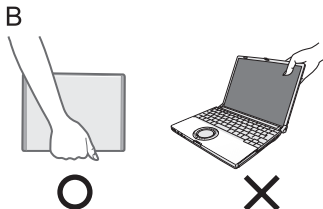
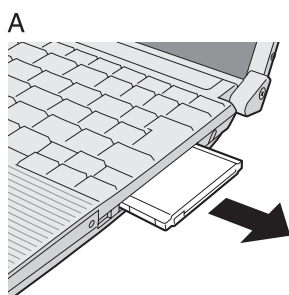
使用・保管・お手入れについて

使用／保管に適した環境

- 平らで落下のおそれがない場所
  コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
- 使用時の温度 ：5 ℃～ 35 ℃　　湿度 ：30 %RH ～ 80 %RH （結露なきこと）
- 保管時の温度 ：-20 ℃～ 60 ℃　湿度 ：30 %RH ～ 90 %RH （結露なきこと）
  - 上記温度、湿度の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 磁気を発生するもの、および磁気カードなどから離れた場所
  - 磁石、磁気ブレスレットなどを近づけないでください。
  - 本機は左図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

持ち運ぶとき

A

B

◆ お守りください

- 電源を切る。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出た PC カード（左図 A)、SD メモリーカードやマルチメディアカードをすべて取り外す。
- ディスプレイを閉じ、ラッチ部分（➔ 9 ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。
  ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。（左図 B）
- 落としたり机の角など硬い物にぶつけたりしない。
- 航空機利用時
  - コンピューターやディスクなどは、手荷物として持つ。
  - 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。
- 予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。
- 液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているとき、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気をつける。

◆ おすすめします

- 予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。
- SD メモリーカードなどにデータのバックアップをとり、必要に応じてバックアップしたデータも一緒に持ち運ぶ。

お手入れ

- ディスプレイ／ホイールパッドのお手入れ：
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ディスプレイ以外の部分／ホイールパッドに汚れが付着した場合：水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

無線LANについて

◆ 無線LANの設定方法や使用時のお願い

- はじめて無線 LAN アクセスポイント（別売り）を使って無線 LAN で通信される場合は、付属の『無線 LAN 接続ガイド』をご覧ください。
- [スタート] - [操作マニュアル] をクリックし、「第 4 章：無線 LAN で通信する」をご覧ください。

◆ 無線LANサポート情報

「http://panasonic.biz/pc/support/wlan/index.html」にアクセスすれば、最新の無線 LAN サポート情報が入手できます。（2004 年 9 月 1 日現在）

無線LANの電源について

- 無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN の電源をオンにしてください。（工場出荷時は、無線 LAN の電源がオンになっています。）
- 無線 LAN の電源のオン／オフは、無線 LAN 切り替えユーティリティを使います。

◆ 無線LANの電源を入れる／切る

1 画面右下のタスクトレイの「無線電源アイコン」（オン時）または（オフ時）をクリックし、[無線LANの電源を切る]または[無線LANの電源を入れる]をクリックする。

◆ 無線LANの規格IEEE802.11a（802.11a）の有効／無効を切り替える

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（5 GHz の無線 LAN）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。

1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

制限ユーザーでは、IEEE802.11aの有効／無効を切り替えることができません。

2 画面右下のタスクトレイの「無線電源アイコン」（オン時）または（オフ時）をクリックする。

3 IEEE802.11aを無効にする場合：

- [802.11a を無効にする] をクリックする。

IEEE802.11aを有効にする場合：

- [802.11a を有効にする] をクリックする。

IEEE802.11aを有効／無効に設定しても、「無線電源アイコン」またはは変わりません。

守って快適に

◆ 航空機内、病院内など、無線LANの使用が禁止されている場所で、コンピューターを使用する場合

● 使用する前に必ず無線 LAN の電源を切ってください。

◆ プロジェクターとワイヤレス接続する

パナソニック液晶プロジェクター TH-LB10NT とワイヤレス接続して使う場合、プロジェクターに付属の CD-ROM を使わずに、ワイヤレス投写用アプリケーションソフト Wireless Manager mobile edition を使うことができます。
(➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：無線 LAN で通信する」)

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線 LAN のセキュリティに関する設定は行われていません。
無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。(➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：無線 LAN で通信する」、お使いの無線アクセスポイントの説明書)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してコンピューターと無線アクセスポイント等との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
• ID やパスワードあるいはクレジットカード番号等の個人情報
• メールの内容
等の通信内容を盗み見る可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のコンピューターやネットワークへアクセスし、
• 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
• 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
• 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
• コンピューターウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）
等を行う可能性があります。

本機の無線 LAN 機能や無線アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線アクセスポイントにあわせてセキュリティに関する設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。

無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをおすすめします。お客様ご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

Windows／ウィルス対策について

Windowsについて

Windows の設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windows のメニューや表示が本書と異なる場合があります。
また、パスワードリセット機能（➔ 16 ページ）など一部の機能が動作しない場合があります。その場合、下記の項目の他、本書や付属の『困ったときの Q&A』、『Windows のヘルプ』（➔ 8 ページ）、アプリケーションソフトやドライバーに付属の説明書などから、該当する項目をご覧ください。

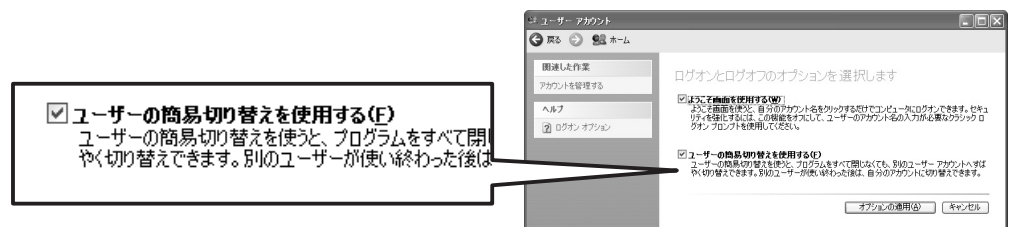
ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] - [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する] をクリックし、「ようこそ画面を使用する」または「ユーザーの簡易切り替えを使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、操作が異なります。

◆ ようこそ画面を使用する／使用しない

この項目にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、Windows 起動時および終了時の操作が異なります。

- 工場出荷時はチェックマークが付いた状態（使用する）になっています。
- SD カード設定（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 3 章：SD メモリーカードによるセキュリティ機能」）で「Windows のログオン時に使用する」に設定している場合は、ようこそ画面は使用できません。

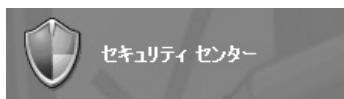
◆ ユーザーの簡易切り替えを使用する／使用しない

この設定にチェックマークを付ける（使用する）と、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

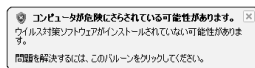
以下の場合はユーザーの簡易切り替えを使用することができません。
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていない場合
- ネットワークのドメインに参加している場合
- SD カード設定（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 3 章：SD メモリーカードによるセキュリティ機能」）で「Windows のログオン時に使用する」に設定している場合

アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
また、ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。

セキュリティセンター／ウィルス対策について

Windows をコンピューターウィルスなどによる被害から守るため、Windows セキュリティセンター機能をお使いください。

Windowsセキュリティセンターについて

- Windows セキュリティセンターとは
  “Windows のセキュリティ情報を一元管理する機能”で、ウィルス対策などの Windows のセキュリティ設定がより安全に行われているかを監視します。
  コンピューターウィルスなどによる被害から Windows を守るため、「Windows セキュリティセンター」機能をお使いください。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] をクリックすると、以下のセキュリティ関連の現在の設定が表示されます。
  - Windows ファイアウォール
    外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護 するためのセキュリティ機能です。
    外部ネットワークとの間でやりとりされるデータ を規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。
    お買い上げ時は、有効に設定されています。
  - 自動更新
    インターネットに接続していれば、セキュリティの更新など、重要な更新が行われているかを定期的に確認し、自動的にインストールして最新の状態にする機能です。
  - ウィルス対策
    ウィルス対策ソフトがインストールされているかどうか、およびウィルス対策ソフトのバージョンが最新かどうかなどを定期的に確認する機能です。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら

メッセージを読み、画面右下のタスクトレイの「Windows セキュリティアイコン」（赤色のアイコン）をダブルクリックして、適切な設定を行ってください。

このメッセージは、上記の Windows セキュリティセンターがセキュリティ関連の設定を定期的に確認し、より正しく設定されるまで表示します。

お知らせ

- このメッセージは、エラーメッセージではありません。メッセージが表示されたままお使いいただくことはできます。ウィルスなどの被害を軽減し、より安全にお使いいただくために適切な対策を行い、このメッセージが表示されないようにすることをおすすめします。

ウィルス対策ソフト マカフィー®・ウイルススキャンをインストールする

（デスクトップに マカフィー・ウイルススキャン が表示されている場合のみ）
本機にはコンピューターウィルスを検査、駆除するソフトとしてマカフィー・ウイルススキャンが搭載されています。ご使用いただくために以下の手順でインストールおよびアップデートを行ってください。

お願い

- 最新のウィルスを検査、駆除するために必ずアップデートしてください。
  マカフィー・ウイルススキャンを最新版のプログラムやパターンファイルにアップデートするには、ユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録およびアップデートにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。

A デスクトップの マカフィー・ウイルススキャン（マカフィー・ウイルススキャンのセットアップ）をダブルクリックする。

B [はい]をクリックする。
マカフィー・ウイルススキャンインストールウィザードの画面が表示されたら、[次へ]をクリックしてください。
インストールが始まります。

C [ウイルスマップレポート]の画面で、[はい、参加します]または[いいえ、参加しません]をクリックして、[次へ]をクリックする。
（郵便番号は入力できません。空白のまま[次へ]をクリックしてください。）

D [再起動]をクリックする。
再起動後、タスクトレイに M が表示されます。
（使いかたについては、タスクトレイの M をダブルクリックし、マカフィー・セキュリティセンター画面のヘルプをご覧ください。）

E タスクトレイの M を右クリックし、[アップデート]をクリックしてユーザー登録を行います。画面に従ってユーザー登録をしてください。ユーザー登録から90 日間はアップデートすることができます。
90 日が過ぎてもマカフィー・ウイルススキャンはご使用になれますが、アップデートができなくなり、最新のウイルスに対応できなくなります。引き続き、マカフィー・ウイルススキャンのアップデートをご利用の場合は、マカフィー・セキュリティセンターのメッセージに従い、セキュリティサービスの延長契約（有償）をお申し込みください。

お知らせ

- マカフィー・ウイルススキャンをインストールした後、スタンバイ状態からの復帰時などに「問題が発生したため、NT On-Access Scanner service.を終了します」というエラーメッセージが表示される場合があります。
  このエラーメッセージが表示された場合は、マカフィー・テクニカルサポートセンター（➔ 39ページ）にお問い合わせください。

守って快適に

周辺機器の使用／内蔵ハードディスクについて

周辺機器の使用について

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。
また、本書および画面で見る『操作マニュアル』とあわせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

内蔵ハードディスクについて

データ保護のために

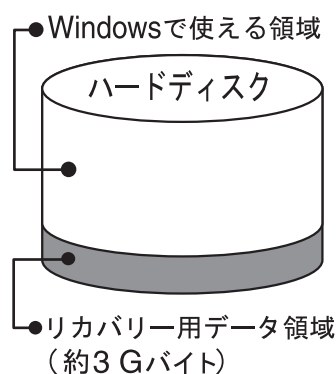
以下のことをお守りください。

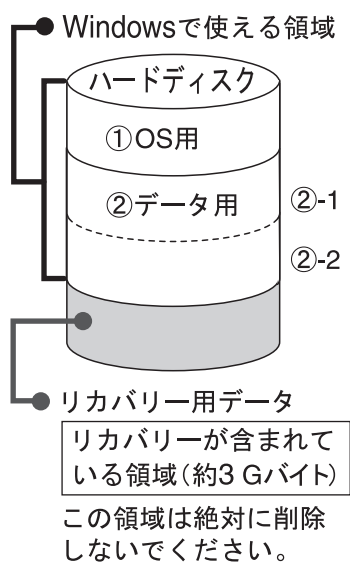
- コンピューター本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータや Windows およびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- Windows やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプ が点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート] メニューから電源を切ってください。（➔ 19 ページ）
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障、不本意なデータ更新／消失など）に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。
  （➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 2 章：パスワードを設定する」「第 3 章：SD メモリーカードによるセキュリティ機能」）

ハードディスク内のリカバリー用データについて

●Windowsで使える領域

ハードディスク

●リカバリー用データ領域
（約3 Gバイト）

- ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。
  本機は、再インストール（コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なリカバリー用データをハードディスク内に格納しています。このリカバリー用データは約 3 G バイトあります。
  誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データ領域は通常の方法では表示されないようになっていますが、特別な手段を講じて、この領域を削除したり、領域内のデータを削除／変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。絶対にこれらの操作を行わないでください。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。
- リカバリー用データは、他のメディアや外付けのハードディスクなどにバックアップをとることはできません。
- リカバリー用データ領域を通常のドライブとして、使用することはできません。あらかじめご了承ください。
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

パーティション（領域）の変更について

- **再インストールで「OS 用とデータ用の 2 つのパーティションを作成して、OS 用パーティションに Windows を再インストールする」を実行すると、パーティションを 2 つに分割することができます。**

  OS 用として最低限必要なパーティションのサイズは、再インストール時に画面上でご確認ください。

  3 つのパーティションを作成したい場合は、再インストールで OS 用とデータ用の 2 つのパーティションを作成したあと、Windows を起動し、「ディスクの管理」を使って 2 つ目のパーティション（左図 B）を削除してから作成してください。
  なお、パーティションは OS 用も含め、3 つまでにしてください。

  データ用パーティション作成後、再インストールするときは以下の点に気を付けてください。
  - **最初のパーティション（A OS 用）に Windows を再インストールする場合：**
    B-1 と B-2 のデータは維持されます。
    ただし、「B データ用」を 3 つに分割して 4 番目のパーティションを作成していた場合、4 番目のパーティションは再インストールの際にリカバリー用データ領域として扱われるため、削除されます。必ず、パーティションは OS 用も含め、3 つまでにしてください。
  - **上記以外の方法で再インストールする場合：**
    A および B のデータはすべて削除されます。

PC情報ビューアーでコンピューターの使用状態を確認する

ご相談窓口への相談時の情報として活用することができます。（コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。）

◆ PC情報ビューアーを起動する

A [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [PC 情報ビューアー]をクリックする。

項目をクリックすると各項目の詳細情報が表示されます。
（PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。）

◆ 情報をファイルに保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。

A PC情報ビューアーを起動し、保存したい情報を表示させる。

B [保存]をクリックする。

- 表示されている項目を保存する場合
  [表示している情報だけ保存する] - [OK] をクリックする。
  ウィンドウの外に隠れている部分も含めて保存できます。スクロール操作で表示位置をずらす必要はありません。
- すべての項目を保存する場合
  [すべての情報を保存する] - [OK] をクリックする。

C フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。

◆ 画面のコピーをファイルに保存する

表示している画面のコピーをビットマップ形式（.bmp）でファイル保存できます。

A 保存したい画面を表示させる。

B【Ctrl】+【Alt】+【F8】を押す。

C「画面のコピーを...保存しました」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「マイドキュメント」フォルダーに「pcinfo.bmp」ファイルが作成されます。
「pcinfo.bmp」ファイルがある場合は上書きされます。（ファイルを読み取り専用や隠しファイルに設定している場合は、上書き保存できません。）

- ファイルの拡張子（.bmp）を表示するには、エクスプローラーの [ツール] - [フォルダオプション] - [表示] をクリックし、[詳細設定] の [登録されている拡張子は表示しない] のチェックマークを外してください。

お知らせ

- 以下の操作で画面のコピーをファイルに保存することもできます。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [画面コピー]
- 工場出荷時は、【Ctrl】+【Alt】+【F8】を押すと画面のコピーをファイル保存できるように設定されていますが、以下の操作で変更することもできます。
  A [PC情報ビューアー]を選ぶ。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  B [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  C「ショートカットキー」にカーソルを移動させてクリックし、ショートカットに使うキーを押し、[OK]をクリックする。
- 色数は、256色で保存されます。
- 拡張デスクトップモードでお使いの場合
  プライマリデバイス側に表示している画面を保存します。

アプリケーションの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、付属の『困ったときの Q&A』および画面で見る『操作マニュアル』の「第 6 章：困ったときの Q&A」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトの製造元のホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご参照ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、下記へお問い合わせください。
お問い合わせの際には、必ず、お使いのコンピューターの状況をご連絡ください。（2004 年 9 月 1 日現在）

● マカフィー®・ウイルススキャン

（デスクトップに マカフィーウイルススキャン が表示されている場合のみ）
お問い合わせは当社ご相談窓口ではなく、下記にお問い合わせください。
マカフィー・ウイルススキャンがプリインストールされたコンピューターを購入されたお客様向けの窓口です。

マカフィー・カスタマオペレーションセンター
- 受付内容
  登録方法やお支払い等のオペレーション上のお問い合わせをいただく窓口です。
- 主な受け付け内容
  Web での登録方法に関するご相談
  お客様登録情報の変更等のご相談
- お問い合わせ時間帯：月〜金曜日　9:00 〜 17:00（祝祭日を除く）
- 電話 *1：0570-030-088
- E-mail*2：カスタマオペレーションセンターへ E-mail でお問い合わせをご希望のお客様は、下記サポートページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
- Web サイト：
  お問い合わせフォーム　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
  サポートページ　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター
- 受付内容
  ソフトウェアの操作方法や不具合等の技術的なお問い合わせをいただく窓口です。
- 主な受け付け内容
  ソフトウェアのインストールに関するご相談
  障害に関する技術的なお問い合わせ
- お問い合わせ時間帯：年中無休　9:00 〜 21:00
- 電話 *1：0570-060-033
- E-mail：テクニカルサポートへ E-mail でお問い合わせをご希望のお客様は、下記サポートページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
- Web サイト：
  お問い合わせフォーム　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp
  サポートページ　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

*1 FAX によるお問い合わせは受け付けておりません。
*2 E-mail の受理は 24 時間行っております。

● そのほかの導入済みソフトウェア
本書および付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」に記載されている「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」までお願いいたします。

また、次の手順で「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」へのお問い合わせ先をご確認いただけます。
A [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
B [サポート情報]をクリックする。
お問い合わせの際には必ず、「お問い合わせの前にご確認ください」（➔ 53ページ）をお読みください。

困ったときは

再インストールする（ハードディスク リカバリー）

お客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップをとっておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

- **データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。**
- **4 番目のパーティションは、リカバリー用データ領域（➔ 36、37 ページ）として扱われますので、ハードディスクリカバリーを起動すると削除されます。**

◆ 再インストールとは

ハードディスクをフォーマットして、Windows をインストールし直すことです。

◆ 再インストールが必要な場合

- **Windows が起動しなくなったり、Windows の動作が不安定になって修復できない場合**
- **ハードディスクを 2 つのパーティションに分割して使用する場合**

再インストールの前に

◆ 以下の点を確認する

- **周辺機器および SD メモリーカード／マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USB フロッピーディスクドライブや USB 接続の CD/DVD ドライブを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合がありますので、必ず取り外してください。**
- **ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。**
- **パーティションテーブルの第 4 エントリーにあるパーティションのデータは、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にバックアップをとっておいてください。（特殊な方法でパーティションを作成すると、Windows 上で見える 4 番目のパーティションと一致しない場合があります。）**
- **バックアップをとるときは、ドライブ名を確認してください。パーティションの順番やドライブ名は、パーティションの構成や周辺機器の接続、パーティションを作成したときの条件により変動します。**
  確認方法の一例
  [スタート] をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックして、[管理] - [ディスクの管理] をクリックする。

◆ 再インストールの流れ

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

↓

再インストールする。（約 10 分）

↓

Windows のセットアップを行う。

↓

セットアップユーティリティの設定を変更する。（必要な場合のみ）

↓

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 7 章：ウィルスから守る／本機を最新の状態にする」）

再インストールする

お願い

- **ハードディスクのパーティション（領域）を変更されるお客様へ**
  - **ハードディスク内には、再インストールに必要なリカバリー用データを格納している領域があります。この領域は、保護のため、パーティション操作ツールなどを使った方法では表示も削除もできないようになっています。しかし、特殊な方法を使った場合は、この領域も削除されるおそれがあります。削除すると工場出荷時の状態に戻せなくなりますので、絶対に削除しないでください。****（➔ 36ページ）**
  - **OS用も含め、パーティションは3つまでにしてください。****（➔ 37ページ）**

1 ACアダプターを接続する。

2 セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定に戻す。

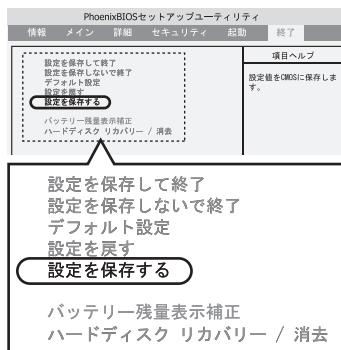
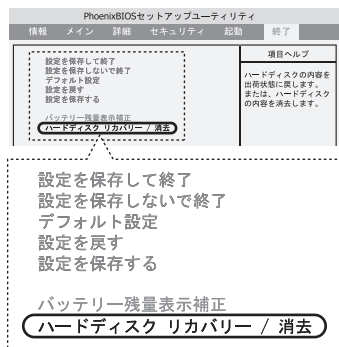
お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

A **コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。**

- **パスワードを設定している場合は、以下の画面で、スーパーバイザーパスワードを入力し、【Enter】を押してください。**

B **【F9】を押す。**
以下の画面で[はい]を選び、【Enter】を押してください。

C **【←】と【→】を使って「終了」メニューに移動し、【↑】と【↓】を使って5行目の[設定を保存する]を選んで【Enter】を押す。**
確認のメッセージが表示されますので、[はい]を選び、【Enter】を押してください。

- **43 ページの手順 *4* が完了するまでは、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。**
- **セットアップユーティリティが終了してコンピューターが再起動してしまった場合、1 行目の「設定を保存して終了」を選んでいます。コンピューターの電源を切り、手順 A からやり直してください。**

再インストールする

D【↑】と【↓】を使って7行目の「ハードディスク リカバリー／消去」を選び、【Enter】を押す。
確認のメッセージが表示されますので、[はい]を選び、【Enter】を押してください。

- 以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
  - 「ハードディスク リカバリー／消去」が表示されない
  - 再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される

  ハードディスク内のリカバリー用データ領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。
- パーティションテーブルの第 4 エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
    [はい] を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
    [いいえ] を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
    あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（➔ 40 ページ）

3 再インストールする。

A【1】を押して「1.【リカバリー】」を実行する。
（以降の画面はすべて一例です。）

- 再インストールを実行するための条件が表示されます。

本ソフトウェアを使用して再インストールを実行するためには，以下の条文に同意していただく必要があります。
(1) 本ソフトウェアは、お買い上げ時のパーソナルコンピューターとハードディスクドライブとの組み合わせでのみ使用できます。他の組み合わせで使用することはできません。
(2) ハードディスク リカバリーシステムに含まれたマイクロソフト製品を使用するためには、本条文への同意とは別に、マイクロソフト製品の使用許諾契約への同意が必要です。

1．はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。
2．いいえ、上記の条文には同意しません。処理を中断します。

番号を選択してください。>> ___

B 同意する場合は【1】を押し、
同意しない場合は【2】を押す。

- 【1】を押すとメニューが表示されます。
- 【2】を押すと再インストールが終了します。

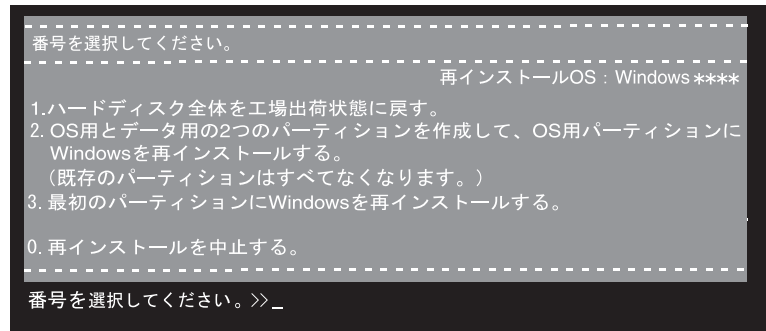
C **再インストールの方法を選ぶ。**

番号を選択してください。

再インストールOS：Windows ＊＊＊＊

1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。
2. OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションに
Windowsを再インストールする。
（既存のパーティションはすべてなくなります。）
3. 最初のパーティションにWindowsを再インストールする。

0. 再インストールを中止する。

番号を選択してください。>>_

- **お買い上げ時の状態に戻す場合**
  【1】を押す。
- **パーティションを** 2 **つ**（OS **用とデータ用）に分割する場合**
  【2】を押す。
  ↓
  OS **用パーティションのサイズ**（G **バイト単位）を数字で入力し、【Enter】を押す。**
  - 0（**ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。**
  - **利用できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。（データ用は** 1 G **バイト以上）機種により、設定できる最大のサイズは異なります。**
- **パーティション構成を変更せず、最初のパーティションに** Windows **を再インストールする場合**
  【3】を押す。
  - **最初のパーティションのサイズは約** 6 G **バイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。**

D **確認のメッセージが表示されますので、【Y】を押す。**

再インストールOS：Windows ＊＊＊＊

ハードディスクのデータはすべてなくなります。
ハードディスクのデータをすべて消去し、Windows を再インストールしますか？

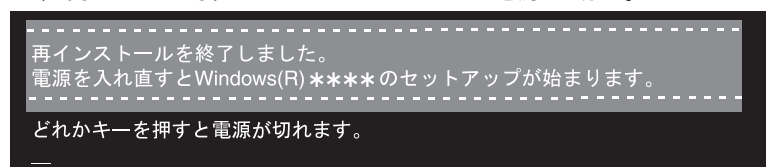
[Y,N]?_

再インストールが始まります。

- **途中で電源を切ったり、【Ctrl】**+**【Alt】**+**【Del】を押すなどして、再インストールを中止しないでください。**Windows **が起動しなくなったり、データが消失して再インストールが実行できなくなったりするおそれがあります。**

E **「再インストールを終了しました」というメッセージが表示されますので、何かキーを押してコンピューターの電源を切る。**

再インストールを終了しました。
電源を入れ直すとWindows(R) ＊＊＊＊のセットアップが始まります。

どれかキーを押すと電源が切れます。
_

4 コンピューターの電源を入れ、Windowsのセットアップを行う。（➔ 13ページ）

5 **セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。**
（パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。）

6 **インターネットに接続できる場合は、**Windows Update**を行う。**
（➔画面で見る『操作マニュアル』の「第7章：ウィルスから守る／本機を最新の状態にする」）

ソフトウェア使用許諾書

第 1 条	権利	お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや CD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。
第 2 条	第三者の使用	お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第 3 条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。
第 4 条	使用コンピューター	本ソフトウェアは、本コンピューター 1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。
第 5 条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第 6 条	アフターサービス	お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第 7 条	免責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。
第 8 条	輸出管理	お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

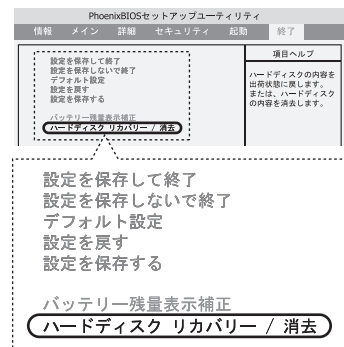
ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスク（リカバリー用データ領域を除く）に保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

◆ 以下の点を確認する

- **必ず、AC アダプターを接続してください。**
- **内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。**
- **実行するとハードディスクからは起動しなくなります。（➔ 40 ページ）**
- **損傷しているハードディスクのデータは消去できません。**
- **パーティションを指定してデータを消去することはできません。**
- **リカバリー用データは消去されません。**

データをすべて消去する

パスワードを入力してください

A **コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。**
パスワードを設定している場合は、左の画面で、スーパーバイザーパスワードを入力し、【Enter】を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

B **【←】と【➔】を使って「終了」メニューに移動し、【↑】と【↓】を使って7行目の[ハードディスク リカバリー／消去]を選んで【Enter】を押す。**
確認のメッセージが表示されますので、[はい]を選び、【Enter】を押してください。

- **以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。**
  - **[ハードディスク リカバリー／消去] が表示されない**
  - **再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される**

  ハードディスク内のリカバリー用データ領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。
- **パーティションテーブルの第 4 エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合**
  - **すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合 [はい] を選ぶ。**
    パーティションは消去されます。
  - **まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合 [いいえ] を選ぶ。**
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（➔ 40 ページ）

C **「番号を選択してください」というメッセージが表示されますので、【2】を押して「2.【HDD消去】」を実行する。**
（【0】（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。）

確認のメッセージが表示されます。

D **【Y】を押す。**
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。
（以降の画面はすべて一例です。）

E **「<<<スタートメニュー >>>」で【Enter】を押す。**

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version＊.＊＊＊＊
                                            (C)＊＊＊＊ 松下電器産業株式会社
-------------------------------------------------------------------------
<<<スタートメニュー>>>
  ハードディスクデータ消去ユーティリティはハードディスク上のデータを
  全て上書きすることにより消去します。
  必要なデータはバックアップを作成してください。
  メッセージに従って操作キーを選択してください。
  （次へ：Enterキー，中止：その他のキー）..._
```

F **消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから【Space】を押す。**

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version＊.＊＊＊＊
                                            (C)＊＊＊＊ 松下電器産業株式会社
-------------------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0：ドライブ:セクター総数    :＊＊＊＊＊＊＊＊（＊＊＊＊＊＊＊＊）
             ディスク容量    :＊＊＊＊＊MB.

（お知らせ）
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ＊＊分から ＊＊分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
   （はい：スペースキー，いいえ：その他キー）..._
```

G **メッセージの内容を確認してから【Enter】を押す。**

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version＊.＊＊＊＊
                                            (C)＊＊＊＊ 松下電器産業株式会社
-------------------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0：ドライブ:セクター総数    :＊＊＊＊＊＊＊＊（＊＊＊＊＊＊＊＊）
             ディスク容量    :＊＊＊＊＊MB.

（お知らせ）
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ＊＊分から ＊＊分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
   （はい：スペースキー，いいえ：その他キー）...[はい]

（お知らせ）
   ハードディスクデータ消去ユ-ティリティを実行するとデータは元に戻り
   ません。Enterキーを押すとデータ消去を開始します。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
   （実行：Enterキー，中止：その他のキー）..._
```

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

- **万一、途中でデータ消去を中断する場合は、【Ctrl】+【C】を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。**

H **「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されたら、何かキーを押してコンピューターの電源を切る。**

- **何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。**

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

● **本体仕様**

機種名	CF-R3EW1AXR　CF-R3EW1AXP
CPU ／ 2 次キャッシュメモリー	インテル® Pentium® M プロセッサ超低電圧★版 733、オンダイ L2 キャッシュ -2 M バイト *1、動作周波数 1.10 GHz、フロントサイド・バス 400 MHz
チップセット	インテル® 855 GME チップセット
メインメモリー	標準 256 M バイト *1　DDR SDRAM（最大 768 M バイト *1）
ビデオメモリー	最大 64 M バイト *1　（メインメモリーと共用）*2
ハードディスクドライブ	約 40 G バイト *3（Ultra ATA100）
	上記容量のうち約 3 G バイト *3 はリカバリー用データ領域として使用（ユーザー使用不可）
表示方式	10.4 型 TFT カラー液晶 XGA（1024 × 768 ドット）
内部 LCD 表示	1024 × 768 ドット：約 1677 万色 *4
外部ディスプレイ表示 *5	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1600 × 1200 ドット：約 1677 万色
本体＋外部ディスプレイ同時表示 *5	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット：約 1677 万色 *4
無線 LAN	内蔵（➔ 50 ページ）
LAN*6	100BASE-TX ／ 10BASE-T
モデム *7	データ：56 kbps（V.90）　FAX：14.4 kbps ／ボイス非対応
サウンド機能	PCM 音源（16 ビットステレオ）、モノラルスピーカー
カードスロット	PC カードスロット（TYPE Ⅱ）× 1 スロット（CardBus 対応、許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA） SD メモリーカードスロット *8 × 1 スロット（著作権保護技術対応）
拡張メモリースロット	172 ピンマイクロ DIMM × 1（2.5 V ／ PC2100*9 ／ DDR SDRAM）
インターフェース	USB コネクター× 2（USB2.0 × 2）*10 モデムコネクター（RJ-11）*7 LAN コネクター（RJ-45）*6 外部ディスプレイコネクター（アナログ RGB ミニ Dsub 15 ピン） マイク入力端子（モノラルミニジャック M3（プラグインパワー対応）） オーディオ出力端子（ステレオミニジャック M3）
キーボード／ポインティングデバイス	OADG 準拠キーボード（85 キー）、キーピッチ：17 mm（横）／ 14.3 mm（縦）（一部キーを除く）／ホイールパッド
電源	AC アダプターまたはバッテリーパック
AC アダプター	入力：AC 100 V 〜 240 V*11、50 Hz ／ 60 Hz 出力：DC 16 V、2.5 A 電源コード：100 V 専用 *11
バッテリーパック	7.4 V（Li-ion）、7.2 Ah
バッテリー駆動時間 *12	約 9 時間
バッテリー充電時間 *13	約 4.5 時間（電源 OFF 時）、約 4.5 時間（電源 ON 時）
消費電力／エネルギー消費効率 *14	最大約 40 W*15 ／ S 区分 0.00023 （社）電子情報技術産業協会　家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W
外形寸法	幅 229 mm ×奥行き 183.5 mm ×高さ 24.2 mm ／ 41.6 mm（前部／後部）突起部除く
質量	約 990 g
使用環境条件	温度：5 ℃〜 35 ℃ 湿度：30 %RH 〜 80 %RH（結露なきこと）
OS*16	Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（NTFS ファイルシステム）

● **本体仕様**

機種名	CF-R3EW1AXR　　　　　CF-R3EW1AXP
導入済みソフトウェア [*16]	Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 2 Adobe Reader DMI ビューアー Microsoft® Windows® Media Player 9 DirectX 9.0 c Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1 ネットセレクター SD ユーティリティ ホイールパッドユーティリティ 各種プロバイダーオンラインサインアップ（hi-ho、@nifty、DION、OCN） フォントサイズ拡大ユーティリティ ズームビューアー NumLock お知らせ 無線 LAN 切り替えユーティリティ Hotkey 設定 PC 情報ビューアー マカフィー®・ウイルススキャン [*17] Wireless Manager mobile edition[*18]
	セットアップユーティリティ ハードディスクデータ消去ユーティリティ [*19]

★　既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下

*1　1 M バイト =1,048,576 バイト。

*2　コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。

*3　1 G バイト =1,000,000,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値で G バイト表示される場合があります。ディスクユーティリティなど使用時は NTFS 対応のものをご使用ください。

*4　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約 1677 万色表示を実現しています。

*5　接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。

*6　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。

*7　モデムは一般電話回線専用です。56 kbps はデータ受信時の理論値です。データ送信時は 33.6 kbps が最大速度です。

*8　本機の SD メモリーカードスロットによる転送レートは 2 M バイト／秒です（理論値であり、実効速度とは異なります）。高速な転送レートに対応した SD メモリーカードをお使いの場合でも 2 M バイト／秒です。すべての SD 機器との接続／動作を保証するものではありません。SD I/O には対応していません。

*9　PC2700 対応の RAM モジュールを取り付けた場合、動作周波数は 266 MHz（PC2100 相当）となります。

*10　USB 対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

*11　本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。（➔　4 ページ）

*12　JEITA バッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。
バッテリー駆動時間は動作環境・システム設定により変動します。

*13　バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。
完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

*14　エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

*15　電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約 1.5 W。

*16　本機はインストール済み OS 以外では動作保証しておりません。

*17　ご使用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録から 90 日間無償で「ウイルス定義ファイル」のアップデートサービスおよびサポートがご利用いただけます。引き続きマカフィー®・ウイルススキャンをご利用の場合は表示メッセージに従い、セキュリティサービスの延長契約（有償）をお申し込みください。

*18　ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクター TH-LB10NT とワイヤレス接続するときに使います。）（➔ 画面で見る『操作マニュアル』の「第 4 章：無線 LAN で通信する」）

*19　セットアップユーティリティから実行するユーティリティ。

仕様

● 無線 LAN

データ転送速度	IEEE802.11a：54 Mbps / 48 Mbps / 36 Mbps / 24 Mbps / 18 Mbps / 12 Mbps / 9 Mbps / 6 Mbps（自動切替）[*20] IEEE802.11b：11 Mbps / 5.5 Mbps / 2 Mbps / 1 Mbps （自動切替）[*20] IEEE802.11g：54 Mbps / 48 Mbps / 36 Mbps / 24 Mbps / 18 Mbps / 12 Mbps / 9 Mbps / 6 Mbps（自動切替）[*20]
準拠規格	ARIB STD-T66 ／ ARIB STD-T71 ／ RCR STD-33 IEEE802.11a ／ IEEE802.11b ／ IEEE802.11g （無線 LAN 標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS-SS 方式
有効距離	IEEE802.11a：見通し約 30 m 、IEEE802.11b/g：見通し約 50 m[*21]（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	IEEE802.11a：34 / 38 / 42 / 46 チャンネル、 IEEE802.11b：1 ～ 14 チャンネル　IEEE802.11g：1 ～ 13 チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz 帯域（2.4 GHz ～ 2.497 GHz）、5 GHz 帯域（5.15 GHz ～ 5.25 GHz）[*22]

[*20] IEEE802.11a/b/g 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

[*21] 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OS などの使用条件によって異なります。

[*22] IEEE802.11a 準拠の無線 LAN は、無線通信に 5 GHz 帯を使用しています。5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。

重要なお知らせ

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「守って快適に」（➔ 30 〜 37 ページ）の内容に注意してください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り替えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
- 漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

日本国内で無線 LAN をお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

A この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

B 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。

C その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

5 GHz 帯の無線 LAN をお使いになる場合のお願い

5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、「修理に関するご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 [消耗品（バッテリーパック）を除く]

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『困ったときの Q&A』および『操作マニュアル』「困ったときの Q&A」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参、または修理に関するご相談窓口にご相談ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

お問い合わせの前に、必ず右ページの内容をご確認ください。

修理に関するご相談

付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時〜20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2004 年 9 月 1 日現在

■ 詳しくは、付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

お問い合わせの前にご確認ください。

1　お問い合わせの内容は次の項目ではありませんか？

症状		対処
画面に黒い点や、色が付いている点がある	▶	● これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳しくは、『困ったときの Q&A』「画面表示の Q&A」をご覧ください。
・パスワードが入力できない ・アルファベットのキーを押しても数字が入力される	▶	● ⓵ランプが点灯している場合は、テンキーモードになっています。【NumLk】キーを押して⓵ランプが点灯していないことを確認した後、再度入力してください。
Word や Excel が入っていない	▶	● Microsoft® Office Word や Microsoft® Office Excel を使うには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 が必要です。付属の『ご使用の前に』をご覧ください。
画面が暗くなった	▶	● 【Fn】+【F2】を押すと、画面を明るくすることができます。
バッテリー駆動時間が短い（仕様に記載の駆動時間までバッテリーがもたない）	▶	● バッテリー駆動時間は、JEITA バッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）にもとづき測定された数値です。バッテリーの駆動時間は使用環境によって異なります。詳細な設定方法は、JEITA のホームページ（http://it.jeita.or.jp/mobile/）をご覧ください。

2　付属の『困ったときのQ&A』をご覧いただけましたか？

電源が入らない、画面が表示されないなど、問題解決の方法を記載しています。

- コンピューターの電源が入る場合：画面で見る『操作マニュアル』もご覧ください。
- インターネットに接続できる場合：
  「パナソニック PC のホームページ」の「FAQ（よくある質問）」もご覧ください。
  A インターネットに接続する。
  B [お気に入り] - [パナソニックお勧めのサイト]- [パナソニックPCのホームページ]をクリックする。
  C [FAQ（よくある質問）]をクリックする。
  [FAQ（よくある質問）] がこの画面にない場合は、[パソコンサポート総合] - [FAQ] をクリックしてください。
  （2004 年9 月1 日現在）

3　アプリケーションソフトウェアまたは接続している周辺機器の問題ですか？

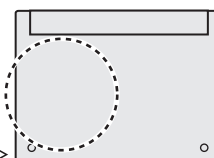
- ソフトが起動しない、操作がわからないなどは、アプリケーションソフトウェアのヘルプやソフトウェアに付属の説明書をご覧ください。また製造元へのお問い合わせ（電話サポートやインターネット上の FAQ など）もご利用ください。
- 周辺機器が認識されない場合や動かない場合などは、周辺機器に付属の説明書や製造元へのお問い合わせ（電話サポートやインターネット上の FAQ など）をご利用ください。

▼

上記を確認しても解決できない場合

必ず、機種品番をご確認のうえ、お問い合わせください。

機種品番は、本体底面の Panasonic ロゴマークの下に記載されています。

＜本体底面イメージ＞

修理依頼表（この用紙をコピーしてご依頼内容をご記入の上、修理依頼品に添付してください）

日ごろはパナソニックパーソナルコンピューターをご愛顧いただき、まことにありがとうございます。
修理のためにお客様の商品をお預かりさせていただくにあたり、以下の内容についてご確認、ならびにご記入をお願いいたします。

[パナソニックパーソナルコンピューターの修理をご要望されるお客様へのお願い]

1. データをバックアップしてください ※障害により操作できない場合は、そのままお預かりします。
お客様よりお預かり致しますパーソナルコンピューターの取り扱いには細心の注意をしておりますが、ハードディスク内にデータが残っていた場合、運送途中、もしくは弊社での修理のためにハードディスク内のデータが消えることがあります。このような場合、弊社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了解いただきますようお願いいたします。
したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、修理に出される前には万一に備え、お客様ご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただきますようお願いいたします。

2. ハードディスクの初期化についてご確認ください
お預かり致しますパーソナルコンピューターの故障状況によりましては、修理のためハードディスクを初期化することが必要になる場合があります。この初期化について、以下のとおり、お客様のご同意の確認をさせていただきますので、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。
なお、初期化により、ハードディスク内に記録されているお客様のすべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、万一に備え、修理に出される前には、お客様ご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただきますようお願いいたします。

3. パスワードを解除しておいてください
症状を確認することができるように、起動時のパスワードは無効にしておいてください。

4. 修理されるパソコンに同梱してください
本修理依頼表は、保証書とともに、修理されるパーソナルコンピューターに添付していただきますようお願いいたします。

ご依頼日：20　　年　　月　　日

フリガナ お名前		電話番号　(　　)　　ー
		FAX 番号　(　　)　　ー
ご住所	〒	
商品品番		(製造番号：　　　)
お買い求め年月日	年　月　日	
お買い求めの販売店名		電話番号　(　　)　　ー

●故障内容を教えてください：以下に ✓ を入れてください
□起動しない　□画面が表示されない　□エラー画面が表示される　□その他

●具体的な故障内容をご記入ください
①どのような症状ですか（できるだけ詳しくご記入ください）

②その症状はどんな操作をしたときに起こりますか

③症状の発生頻度を教えてください：以下に ✓ を入れてください
□常時　□日に数回　□週に数回　□不定期に　□過去に発生した

●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去はお済みですか：以下に ✓ を入れてください
□バックアップした□バックアップしていない（上記のお願い事項 1. をご確認ください）

●「ハードディスクの初期化について」：以下に ✓ を入れてください
□同意する　□同意しない（修理することができず、そのままご返却させていただく場合があります）

さくいん

本書に記載がない説明は、画面で見る『操作マニュアル』(➔ 8 ページ)や、付属の『困ったときの Q&A』に記載されていることがありますので、そちらもご覧ください。

大切な情報

Panasonic® パーソナルコンピューター CF-R3 シリーズ取扱説明書

愛情点検	長年ご使用のコンピューターの点検を！
	こんな症状はありませんか ・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

松下電器産業株式会社 IT プロダクツ事業部

〒 570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

SS0904-0
DFQM5570ZA